

第 83 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録

I. 日 時：2018 年 2 月 21 日（水）13 時 30 分～15 時 50 分

II. 場 所：日本機械学会 第 1 会議室

III. 出席者：（委員 19 名中、出席者 17 名、欠席者 2 名）

三原（東北大）、飯田（東電 FP）、藤田（MHPS）、三好（川崎重工）、天野（早大）、
岡（富士電機）、松田（HSB ジャパン）、高木（火原協）、東垂水（中部電力）、
関根（IHI）、長谷川（日鉄住金テクノロジー）、木村（東芝）、桑原（関西電力）、
澤野（日本電気協会）、江藤（経産省）

代理者：長尾（福富、電中研）、永野（長塚、電源開発）

欠席者：佐藤（発電技検）、中谷（大口自家懇）

オブザーバ：伊藤（IHI）、樺田（MHPS）、倉富（東電 FP）

事務局：原

IV. 配付資料

83-1 第 82 回火力専門委員会議事録（案）

83-2 専門委員会・分科会委員案

83-3 第 84 回規格委員会議事録（案）

83-4-1 材料分科会報告

83-4-2 構造分科会報告

83-4-3 溶接分科会報告

83-5 各分科会審議履歴表

83-6 火力専門委員会書面投票 No.73 結果報告

83-7 発電用火力設備規格 2017 年追補、事例規格 JESC 技術会議審議結果報告

83-8 火力専門委員会書面投票 No.73 の書面投票意見対応結果と意見対応による修正案

83-9 発電用火力設備規格 201X 年版第 VI 章 改訂提案

83-10 Microsoft 数式エディタ 3.0 が Office から削除されたことへの対応

V. 議事

1. 前回議事録確認 [83-1]

前回議事録（案）の確認を行ない、議事録案は承認された。

2. 専門委員会、分科会の委員・役員承認 [83-2]

(1) 火力専門委員会委員の推薦承認

新任委員候補として田淵氏（NIMS）の推薦が報告され、出席委員全員の賛成により規格委員会に推薦することが承認された。

・火力専門委員会：（新任） 田淵氏（NIMS）

（退任） なし

（再任） 天野委員

(2) 分科会委員の承認

各分科会の以下の退任、新任・再任候補が報告され、出席委員全員の賛成により承認された。

- | | | |
|----------|------|----------------|
| ・材料分科会： | (新任) | なし |
| | (退任) | 木村委員 |
| | (再任) | なし |
| ・構造分科会： | (新任) | なし |
| | (退任) | なし |
| | (再任) | なし |
| ・溶接分科会： | (新任) | 鈴木氏（副主査、MHPS） |
| | (退任) | 樺田委員（副主査、MHPS） |
| | (再任) | なし |
| ・配管減肉分科会 | (新任) | なし |
| | (退任) | なし |
| | (再任) | なし |

3. 報告事項

(1) 発電用設備規格委員会報告

[83-3]

第84回規格委員会（12/6）の議事内容のうち、火力に関連する内容が報告された。

- 火力専門委員会の委員の承認
- 火力専門委員会報告（11/29開催）
- 規格委員会と原子力専門委員会の委員長選任結果の報告
- 発電用火力設備規格に関する審議はなし。

(2) 分科会報告

1) 材料分科会報告

[83-4-1]

伊藤材料分科会主査から第88回分科会（H30.1.25）の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 第37回材料専門委員会(11/21)報告
- 火力専門委員会書面投票結果報告。
- 火力専門委員会書面投票 No.73 の投票意見対応案の審議と意見対応による修正案の準備と承認手続きについて。

2) 構造分科会報告

[83-4-2]

飯田構造分科会主査から第99回分科会（H30.1.23）の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 2017年追補のJESC技術会議（1/16）での審議結果報告
- 発電用火力設備規格201X年版の改訂提案に関し、Ⅲ章とⅤ章の新旧対比表の審議状況および進捗の報告。

○発電用火設備規格 201X 年版の改訂提案に向けた今後の進め方の確認。

3) 溶接分科会報告

[83-4-3]

倉富幹事から第 78 回分科会 (H30.2.5) の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 発電用火設備規格 201X 年版のレビュー票、新旧対比表の審議状況報告
- 発電用火設備規格 201X 年版改訂提案資料一式の最終確認と 2 月 21 日開催の火力専門委員会に提案することの承認について。

(3) 火力専門委員会書面投票 No.73 結果報告

[83-6]

事務局から、火力専門委員会書面投票 No.73 の結果が報告された。意見付反対票があったため、議案は可決とせず引続き意見対応を行うことが報告された。

(4) JESC 技術会議審議結果 (2017 追補、事例規格) 報告

[83-7]

1 月 16 日に開催された JESC 技術会議の審議結果が報告された。規格の変更が必要になるご意見は無かったことおよび主な審議内容が報告された。

(5) その他

- 1) 三好委員から、Microsoft 数式エディタ 3.0 が Office から削除されたことの影響・留意点とその対策案が紹介され、本件について情報共有を図った。
- 2) 三原委員長から、本年度の標準事業表彰コードエンジニアリング賞に材料分科会の伊藤主査が選ばれたことが紹介された。

4. 審議事項

(1) 火力専門委員会書面投票 No.73 (201X 年版改訂提案 第Ⅱ章材料) の書面投票意見対応結果と意見対応による修正案について

[83-8]

- 伊藤材料分科会主査が、資料に基づき火力専門委員会書面投票 No.73 の主要なご意見とその対応案について説明した。意見対応は 1 件が対応中 (意見 No.29) となっており、その他のご意見は対応案が了解済みであることが報告された。
- 意見対応完了後、意見対応を反映した修正案について、火力専門委員会の 1 ヶ月の書面投票を行うことが確認された。
- 意見対応による修正案が承認されたのち、修正案を反映した改訂提案を 6 月上旬開催の規格委員会に提案する予定。

(2) 発電用火設備規格詳細規定 (201X 年版) 第Ⅵ章 非破壊検査の改訂提案

溶接分科会樺田前副主査から、資料に基づき発電用火設備規格詳細規定 (201X 年版) 第Ⅵ章 非破壊検査について改訂提案の説明があり、審議の結果、出席委員全員の賛成により火力専門委員会の書面投票を行うことが承認された。

主な意見は、以下のとおり。

①新旧対比表 P193 の T-723 要領書／試験方法の実証において、「検査員の満足」を「第三者検査員の承認」と改訂している。一方新旧対比表 P3 の T-150 要領書においては「第三者検査員が満足するように…」と記載されている。

- まず、異なった用語が使われているので、統一すべきである。
 - ASME のコードとしては satisfaction であり、要領書の承認は作成者側で行っているものなので、満足が良いのではないか。
- 内容を確認して、提示していただいた方向で修正します。

②今回の改定で TOFD 法とフェーズドアレイが規格に取り入れられているが、これで実際に使えるようになるのか。

→規格としての最低限の事項という位置づけである。

VI. 次回開催予定

日 時：2018 年 6 月 4 日（月） 13:30～17:00

場 所：日本機械学会 第 1 会議室